



## 家庭教育情報紙「共育いちい」の発行



日南町の子どもたちに「生き抜く力」を身に着けさせるためには、「学校」・「家庭」・「地域」が同じ方向を向いて、子育てすることが大事です。地域がよき先生、よき学校を育て、ひいてはよき子どもを育てるのです。よくこんな言葉が使われます、「地域で子どもを育てる。」と・・・。

子育ての中心は親です。その親を支援していくのが町であり地域です。日南町でも子育て支援や地域ボランティアなどで親や子どもたち・教員の支援が充実してきました。地域が子育てする責任者の親の立場を取り上げたり、逆に、親が子育てを地域に任せて手を抜いたりすることなく、「地域で子どもを育てる」を目指してがんばりましょう。

家庭・学校・地域が協力して、子どもを育てる、それが「協育」です。そして、家庭では親も子どもも共に育つ、それが「共育」です。

そんな意味を持って、家庭教育の情報を発信していきます。情報紙「共育いちい」は、日南町の「町の木」から命名しました。イチイの葉の先端は尖っていますが、柔らかく痛くありません。また、寒さに強い木です。優しさと厳しさを兼ね備えた木です。保護者のみなさんそのものです。また、各家庭がオンリー1（ワン）＜一位＞を目指して、親も子も共に学び、共に育つよう願って命名しました。

## 家庭教育は、教育の出発点。そして「共育の場」

「家庭」は、子どもにとって安らぎの居場所。家族の笑顔が子どもの笑顔をつくります。親子が共に学び、共に育つ、家庭は「共育の場」です。

家庭教育は、すべての教育の出発点です。生活習慣や生活能力、自尊心や自立心、主体性や自律性、人間関係力や社会参画、社会的マナーなどの基本を身につけていくのは、家族での温かい生活からです。

家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつや早寝早起きを習慣にしたり、家庭学習やお手伝いをしたり、テレビやゲームの時間などのルールを親子で話し合ったり・・・。家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会です。



家庭教育情報紙「共育いちい」の発行は教育委員会家庭教育推進員が行います。よろしくお願ひいたします。家庭教育に関する情報を月1回この情報紙で発信いたします。ご意見ご要望等お寄せくだされば幸いです。